

平成 29 年度 土木工事積算基準の新旧対照表（平成 29 年 11 月単価使用設計書より適用）

平成 29 年 10 月基準（現行）							平成 29 年 10 月基準（一部改定）							備考		
<b>05 コンクリート工</b>							<b>05 コンクリート工</b>									
（中略）							（中略）									
【標準配合と適用構造物表】							【標準配合と適用構造物表】									
記号	設計基準強度 N/mm <sup>2</sup>	スランブ <sup>°</sup> cm	空気量 %	最大水セメント比 %	粗骨材最大寸法 mm	最少単位セメント量 kg/m <sup>3</sup>	適用する構造物の代表例	記号	設計基準強度 N/mm <sup>2</sup>	スランブ <sup>°</sup> cm	空気量 %	最大水セメント比 %	粗骨材最大寸法 mm	最少単位セメント量 kg/m <sup>3</sup>	適用する構造物の代表例	
C-1	—	8.0	4.5	—	20 又は 25	—	均し及び埋戻しコンクリート、縁石、	C-1	—	8.0	4.5	—	20 又は 25	—	均し及び埋戻しコンクリート、縁石、	
C-1P	—	8.0	4.5	—	20 又は 25	270	トラフ、皿型側溝、植樹柵の基礎	C-1P	—	8.0	4.5	—	20 又は 25	270	トラフ、皿型側溝、植樹柵の基礎	
C-4	18	5.0	4.5	55	40	—	管渠の基礎、積ブロックの基礎及び天端コン	C-4	18	5.0	4.5	55	40	—	管渠の基礎、積ブロックの基礎及び天端コン	
C-4P	18	8.0	4.5	55	40	270	クリート、無筋の擁壁、フェンス・街路灯・標識等の基礎、インバート・副管・支管のコンクリート、下水道の支圧壁、推進底部コンクリート、無筋の橋台・橋脚・重力式橋台、床固工・法覆工・根固工・積ブロック基礎	C-4P	18	8.0	4.5	55	40	270	クリート、無筋の擁壁、フェンス・街路灯・標識等の基礎、インバート・副管・支管のコンクリート、下水道の支圧壁、推進底部コンクリート、無筋の橋台・橋脚・重力式橋台、床固工・法覆工・根固工・積ブロック基礎	
C-7	※1	2.5	4.5	45	40	—	舗装コンクリート（橋面舗装は除く）	C-7	※1	2.5	4.5	45	40	—	舗装コンクリート（橋面舗装は除く）	
※2 C-9	—	15.0	4.5 4.0	50	40	370	井筒底版等の水中コンクリート	※2 C-9	—	15.0	4.5 4.0	50	40	370	井筒底版等の水中コンクリート	
C-10	18	8.0	5.0	55	20 又は 25	—	道路及び河川用の胴込、裏込コンクリート	C-10	18	8.0	5.0	55	20 又は 25	—	道路及び河川用の胴込、裏込コンクリート	
RC-1	21	<u>8.0</u>	4.5	55	40	280	鉄筋構造物（管渠、橋台、橋脚、擁壁、樋門、マンホール躯体）等	RC-1	21	<u>12.0</u>	4.5	55	40	280	鉄筋構造物（管渠、橋台、橋脚、擁壁、樋門、マンホール躯体）等	
※3 RC-2-1	24	<u>8.0</u>	4.5	55	40	280	函渠、橋台、橋脚、擁壁、樋門、深礎杭	※3 RC-2-1	24	<u>12.0</u>	4.5	55	40	280	函渠、橋台、橋脚、擁壁、樋門、深礎杭	
RC-4	24	<u>8.0</u>	5.0	55	20 又は 25	280	旧 RC-2 と統合（H21.10.1） RC T 桁、プレテン PC スラブ 中詰、ホースラ ブ 中詰（旧タイプ）、RC スラブ 橋、鋼橋非 合成桁床版	RC-4	24	<u>12.0</u>	5.0	55	20 又は 25	280	旧 RC-2 と統合（H21.10.1） RC T 桁、プレテン PC スラブ 中詰、ホースラ ブ 中詰（旧タイプ）、RC スラブ 橋、鋼橋非 合成桁床版	
RC-5	30	<u>8.0</u>	5.0	55	20 又は 25	280	旧 RC-3 と統合（H21.10.1） 橋面舗装、プレテン PC T 桁の桁間及び桁 間横桁プレテン PC 中詰 [T 桁、ホースラ ブ (A活、B活)]、鋼橋合成桁床版	RC-5	30	<u>12.0</u>	5.0	55	20 又は 25	280	旧 RC-3 と統合（H21.10.1） 橋面舗装、プレテン PC T 桁の桁間及び桁 間横桁プレテン PC 中詰 [T 桁、ホースラ ブ (A活、B活)]、鋼橋合成桁床版	
RC-11	30	15.0	4.0	55	20 又は 25	350	現場打杭等の水中コンクリート	RC-11	30	15.0	4.0	55	20 又は 25	350	現場打杭等の水中コンクリート	
PC-1	30	<u>8.0</u>	5.0	50	20 又は 25	280	ポステン PC 桁中詰	PC-1	30	<u>12.0</u>	5.0	50	20 又は 25	280	ポステン PC 桁中詰	
PC-1P	30	<u>8.0</u>	5.0	50	20 又は 25	280	ポステン PC 桁	PC-1P	30	<u>12.0</u>	5.0	50	20 又は 25	280	ポステン PC 桁	
PC-2	40	<u>8.0</u>	5.0	50	20 又は 25	280	ポステン PC 桁	PC-2	40	<u>12.0</u>	5.0	50	20 又は 25	280	ポステン PC 桁	
PC-2P	40	<u>8.0</u>	5.0	50	20 又は 25	280	ポステン PC 桁	PC-2P	40	<u>12.0</u>	5.0	50	20 又は 25	280	ポステン PC 桁	
※4 T-1P	18	8.0 又は 15.0	4.5	60	40	270	トンネルアーチ部・インバート部	※4 T-1P	18	8.0 又は 15.0	4.5	60	40	270	トンネルアーチ部・インバート部	
※5 TRC-1	24	8.0 又は 15.0	4.5	60	40	280	トンネル坑口部・巻出部のアーチ部	※5 TRC-1	24	8.0 又は 15.0	4.5	60	40	280	トンネル坑口部・巻出部のアーチ部	
[注 1]記号 C：無筋コンクリート RC：鉄筋コンクリート PC：プレストレスコンクリート T：トンネルコンクリート P：ポンプ施工用コンクリート（最小単位セメント量 270 kg） ※1 σ <sub>ck</sub> =4.5N/mm <sup>2</sup> （4 週曲げ強度 JIS A 1106） ※2 井筒底版の水中コンクリート(C-9)の空気量は、完全に水中又は地下に没する場合 4.0%とする。 ※3 RC-2-1 は H11.10.28 建設省土木構造物マニュアル(案)に基づき設計された構造物に適用。 ※4 T-1P については、アーチ部はスランブ 15cm、インバート部はスランブ 8cm を標準とする。 ※5 TRC-1 については、坑口部や巻出部のアーチ部で、一般型枠を使用の場合はスランブ 8cm、スライ ディングセントル等を使用の場合はスランブ 15cm を標準とする。							[注 1]記号 C：無筋コンクリート RC：鉄筋コンクリート PC：プレストレスコンクリート T：トンネルコンクリート P：ポンプ施工用コンクリート（最小単位セメント量 270 kg） ※1 σ <sub>ck</sub> =4.5N/mm <sup>2</sup> （4 週曲げ強度 JIS A 1106） ※2 井筒底版の水中コンクリート(C-9)の空気量は、完全に水中又は地下に没する場合 4.0%とする。 ※3 RC-2-1 は H11.10.28 建設省土木構造物マニュアル(案)に基づき設計された構造物に適用。 ※4 T-1P については、アーチ部はスランブ 15cm、インバート部はスランブ 8cm を標準とする。 ※5 TRC-1 については、坑口部や巻出部のアーチ部で、一般型枠を使用の場合はスランブ 8cm、スラ ィディングセントル等を使用の場合はスランブ 15cm を標準とする。									
							スランブ値の変更									